ききょうタイムス

ききょう times

第2号
発行
吉沢学園
98-1562
平成元年8月10日

―園外学習―
『山倉こどもの国』へ

七月十九日、二十一日、二十八日と三班に分かれてこどもの国へ行って来ました。心配された天候も、子ども達の遠足行きたさに負けたのか、空は素晴らしく快晴でした。

バスの中では、みんな緊張しているせいか、口数も少なめでしたが、表情はうれしさいっぱいです。

こどもの国へ着いてからは、指導員一人に対して、二、三人の子どもの班を作り、班行動をしました。広い公園で子ども達は伸び伸びと遊び、フィールドアスレチックや、タイヤのブランコと次々に遊具に挑戦していきました。子ども達か喜んだのはペダルを漕げば漕ぐ程、高く上がるというサイクル・ヘリコプターに乗れたことだと思います。中にはゴーカートに乗って楽しんだ子もいました。けれど、一番のうれしさは、おこずかい五百円から、売店でのジュースやアイスクリーム、お菓子などを買って食べれたことではないでしょうか。お昼は食堂でカレーライスを食べました。皆、行儀もよく、いつもは食べるのが遅い子さえも皆と同じ様に食べ終わり、後片付けの際にも「ご馳走さまでした」とか「おいしかった」です」と言っている子もいました。

また行こうネと
せがむ子ども達

昼食後も、広場で遊んだりしていましたが、やがて帰る時間となりました。名残り惜しむ子ども達でしたが施設で待ってるお友達の所へ帰ってきました。

子ども達にとっての楽しい遠足は終わってしまいましたが、「また行こうネ」と言ってくれたり、遠足の日の楽しかったことを話してくれる様子を見て、今回初めての園外学習は、子ども達にとっても、指導員にとっても良い経験となったと思います。

ともだちのワッ

♥遠藤　利行くん

まつ毛が長くとてもきれいな瞳をした彼は、まさに純粋そのものである。指導員にくすぐられて、逃げ回りながらも喜ぶ彼の笑顔は、最高に素晴らしい！これからも、素敵な笑顔を、振り撒いてくれるはずだ。

♥矢沢　亮一くん

お月さまのように、まん丸い顔をして、愛きょうあろ亮ちゃん。だけど、朝起きるのがちょっと苦手で、皆より遅くなってしまう。これからはもう少し早く起きる様に頑張ろう

♥鵜沢　昭弘くん

先生を「お父さん」「お母さん」なんて呼んでいる

彼は、ちょっぴり寂しがりやかも知れない。いつも、自由時間には、紙と鉛筆をもって先生の所に来るので、もっとたくさん字を覚えて、手紙を書こうネ。

♥木元　勝志くん

丸顔で体も大きく、パッと見た瞬間、柔道の山下選手に似ている彼。耳そうじをしてもらうのが、とっても好きで、気持ちよさそうにしている時の顔は、とっても可愛いらしい！

寄稿

娘の十八年間

西郡幸枝

時の流れは早いもので、娘も、もう十八歳になりました。三歳の時にかかったはしかで、意識がなくなる程の高熱を出し、障害となってしまいました。

退院後、すぐ保健所の紹介で言語治療教室に通いましたが、残念ながら和子の障害は治りませんでした。

その時の気持ちは親に取っては身を切られる思いでした。

小学校へ入学するのも、子供に合った教育が大切だと思い、特殊学級で四年間お世話になりました。その後は市原養護学校開校と共に転校し、今年の三月高等部を卒業することができました。

私の子供は話すことはできません。けれど、表情や動作でいろいろな事を示してくれます。四月より吉沢学園に入所することになりました。指導に当たられる先生方、これからもよろしく御指導お願いします。

生き生き学園生活

―――

・学園の畑にたくさんのみょうが出てきました。子ども達は、みょうがをおもしろがって取り、現在施設内だけですが、100g50円として売っています。50円というのが目を引くのか、なかなかの好評です。

・園内花火大会

八月一日、台風一過、空は天の川の中、花火に輝いている中、一人ずつ[illegible]交替で花火を[illegible]あげた花火で[illegible]いれば[illegible]無事に終わることができました。[illegible]れました。先生が写してくれた写真を待つばかりです。

ハッピーバースディ

（六月生まれ）
張玉美・川嶋寿夫・兼村栄吉
（七月生まれ）
藤原治・中村賢一・生田目千江子
宮原峯夫・宮崎正寿・
森川智朗・木元勝志・
青木美詩子　おめでとう

コクヨ　コヒ－5D（64×44）